

第2回 江別市本庁舎建設基本構想検討委員会会議録(要点筆記)

日 時： 令和4年9月14日(水)13:30～15:30

場 所： 江別市民会館 21号室

出席委員： 小室晴陽委員、末富弘委員、藤本直樹委員、伊藤祥子委員、伊藤留美子委員、
北川裕治委員、工藤祐三委員、神保順子委員、日谷真維委員、星優子委員、
松村昭二委員、鴨田啓治委員、西町なつみ委員
計13名

欠席委員： 2名

事務局： 野口総務部調整監、阿部総務部参事(庁舎耐震化担当)、上ノ山主査(庁舎耐震化担当)、
大久保主査(庁舎耐震化担当)

その他： (株)ドーコン北條執行役員、中嶋主任技師、生沼主任技師、菊地技師

傍聴者： 1名

会議概要

1 開会

2 報告事項

(1)本庁舎建設基本構想に関するワークショップについて

(2)本庁舎建設基本構想に関するオンラインワークショップについて

事務局からワークショップ及びオンラインワークショップの結果概要について説明

3 協議事項

(1)本庁舎建設基本構想(案)について

(2)新庁舎建設の基本理念について

事務局から「江別市本庁舎建設基本構想(案) 令和4年9月(初案)」について説明

《第3章 新庁舎建設に向けた考え方について》

○藤本委員

基本理念に関して、身体障がい者や、外国人、若い人、高齢の方など多様な人が多様な使い方ができるように「ダイバーシティ」、「多様な、市民が集う」という意味合いを込めると良いと思う。

また、新しいシンボル、拠点になるので「次世代の拠点」、「次世代のシンボル」という言葉があると、庁舎の考え方に合致すると思う。

○伊藤留美子委員

「多様性」は貴重だと思う。みなさんに親しまれるということが大切だと思う。

○工藤委員

P18 の基本理念については、新庁舎建設における基本理念ともいえるし、市政運営やまちづくりの基本理念とも関連すると思う。

市の特色を自分なりにまとめると、1つ目は伝統的な産業はレンガであること。2つ目は、農業・酪農業も含めて自然の恵み、自然が豊かなところ。3つ目は農業・酪農地域と市街地が、同じ市の中にあり、これらの交流ができるということ。4つ目は、4大学1短大があるということ。大学があるおかげで若者が集うのは強みだと思う。5つ目は、JRの駅が5つもあるということも強みだと思う。一方で、市街地が分散しているため、例えば大地震が起きた場合、市役所を新しくして、いくら防災機能を高めても、塀などが倒壊することが想定されるため、簡単には現地に行けなかったり、情報を集中させることができても、簡単には手助けに行けないということもありうるだろうと思う。6つ目は平たんな土地であること。市役所の上層にレストランができれば眺めはいいと思う。ただお金がかかると思うので、1階に庭園や子供の遊び場を設ける方が効率的ではないかと考えている。

○日谷委員

「えべつの未来づくりミーティング」にも参加したが、江別市が市民とともに未来を創るという方向性が強いと思う。ワークショップの結果を見ると、集いやすい、親しみやすいという言葉が見られた。新庁舎は市民の方と共にあるというのが良いと思うので、「市民とともに未来を創る親しみ溢れるシビックホーム」というのが良いのではないかと考えた。

○星委員

基本理念ということで抽象的な言葉になるが、「市民一人ひとりが幸せに暮らすための未来を創造できる庁舎」が良いのではないかと考えた。

○鴨田委員

基本理念には、「多様性」や「豊かな自然」、「市民に親しまれる拠点」といった内容が入ると良いと感じた。新しい「庁舎」「市民」「豊かな自然」が含まれた言葉になれば良いと思う。

○西町委員

「市民が穏やかに安全に生活できるための庁舎」になったら良いと思った。

○松村委員

江別市には市民憲章がある。市民憲章の言葉をうまく利用しながら基本理念をつくっていくと良いと思う。市民憲章は江別の生い立ちなどを踏まえてつくられているので良いと思う。

○神保委員

江別にはいろんな事業や活動をしている人がいると思う。そういう意味では、分担も大事だと思う。市役所としては、「シンプル」で「便利」、迷ったりしたらすぐ対応してくれるような市役所ができれば良いと思った。

○北川委員

基本理念は明るい未来を感じる言葉が良いと思う。あえて逆のことを言うと、すごい投資をしたとき、下手をすると負の遺産になってしまう可能性がある。言葉に入れなくても「簡素」で「効率的」ということは非常に大事だと思う。これから人口が減少するかもしれないし、エネルギー面についても効率的にすべきだと思う。次世代のシンボルという意見もあったが、30年後に、どうしてこんなものを建てたのかと思われないような庁舎にすべきと思う。

○伊藤祥子委員

困ったときや、何かしてほしいとき、市役所に行ってみようと思えるような市役所であってほしいと思う。

○小室会長代理

1つ目は、「江別らしさ」。江別ならではの言葉が入っていた方が良い。社会的な側面から、環境や多様性については当然必要だと思うが、その先の江別らしさが入ると良い。できればそれが空間と結び付けられる表現だと良いと思う。

2つ目は、これからの社会は大きく変化と思うので、「変化に対応できる」、「可変性」という言葉が入ると良いと思う。

P19の基本方針については、5つの基本方針の言葉が固まってくると基本理念も浮かび上がってくと思う。5つの基本方針については、その順番が気になる。順番の優位性は基本理念にも影響すると思うので、「方針4 江別らしさをPRできる庁舎」をもう少し前に持ってくると良いと思った。提案としては、「方針1」→「方針2」→「方針4」→「方針5」→「方針3」という順番にしてはどうか。

最後に、「方針1 みんなに親しまれる庁舎」については、市民に親しまれるだけでなく、「利用しやすい」というニュアンスの言葉が入っていると良いと思う。

○末富会長

基本理念について、各委員から多様な要素が出てきたと思う。個人的には「江別ダイバーシティホール」というのを考えていたが、基本理念としては、市民の方が理解しやすく、基本方針にリンクした言葉である方が良いと思う。

基本方針については、大学・短大をどう効果的に使っていくか、という内容を「第4章新庁舎の機能と規模」に含めていくことは大事だと思う。

○藤本委員

P18の基本理念については、この場で決めることは困難と思うので、次回までに事務局から案を示して頂いた方が良いと思う。基本理念に盛り込みたい言葉が多いと思うので、サブタイトルをつけても良いと思う。

また、大学との関係性について補足すると、9/10(土)に開催した大学生のオンラインWSでもたくさんの意見が出されており、大学の研究成果や学生のような活動などが大学の中で閉じてしまっているため、新庁舎の中に研究成果を共有できるような場や、学生も活動できるような場を望んでいるという意見があった。

○事務局

基本理念について、今回の協議を踏まえて、次回までにいくつか事務局案を示す。

《第4章 新庁舎の機能と規模について》

○伊藤留美子委員

P21「バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能」の「衛生設備等」に関して、トランスジェンダーへの配慮は必要だと思うが、ジェンダーレストイレというのはどういうものを想定しているのかお聞きしたい。多目的トイレがジェンダーレストイレの機能を備えるのではないかと感じた。

また、男性トイレにもサンタリーボックスを置いた方が良くと思う。

点字ブロックについて記載されているが、とてもいいことだと思った。

○事務局

ジェンダーレストイレに関しては、事務局としても同じような考え方であるが、当事者でないとわからないこともあると思い検討項目に記載した。男性トイレにおけるサンタリーボックス設置の検討については、事務局内部で検討し、項目に入れるべきか判断したい。

○鴨田委員

P20「市民サービス機能」における「相談スペース」のパーテーションや個室については、職員の安全性を考慮することについても記載した方が良くと思う。

P21「バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能」における「室内設備」のエレベーターやエスカレーターについて、必要台数の検討とあるが、エレベーター・エスカレーターも定期的な保守点検が必要であるため、それを踏まえた上で検討した方が良くと思う。

P22「防災拠点機能」における「災害対応設備」のトイレ関連について、「屋外の防災トイレ設置の検討、マンホールトイレ用排水設備の検討」と記載されているが、新庁舎を避難所とする想定なのか、駐車場に仮設的に用意したときのためのものかわからなかった。新庁舎を避難所とするのはいかなるものかと思った。

さらに、「輸送計画」のヘリポートの検討については、庁舎屋上を想定するのか、地上に用地を想定するのか確認したい。

○事務局

相談スペースについては、安全性に関する記載について検討することとしたい。エレベーター・エスカレーターについては、ご意見としてお伺いしたい。トイレ関係については、災害時に混乱を招く恐れがあることから新庁舎に避難をさせないことと考えている。ここで記載している屋外の防災トイレについては、仮設トイレを想定しており、避難した市民の方というより、断水したときに必要なものと考え記載した。ヘリポートについては現在、江別高校跡地がヘリコプターの降下場所となっているため、新庁舎建設に当たって、その機能を継続するかどうかも含めて検討したい。

○工藤委員

P22「防災拠点機能」に関連して、国道に防災カメラはついているのか。災害時にこういったカメラは使えるのではないかと思った。また、ドローンに関しても勉強してみたいと思った。

○事務局

国道12号に関して、道路管理者の国交省が、交通量を測定できるように設置していることは承知しておりHPで確認できる。ドローンについて、新庁舎に関しては現時点で検討していないところである。

○鴨田委員

江別市消防本部ではドローンを持っている。江別市消防本部と酪農大学が協働で、森林公園の遭難者の捜索などに取り組んでおり、国から予算をもらいながら15名の操縦士の育成を行っている。災害時にドローンを運用することができると思う。

また、道警や札幌消防も持っており、災害時は応援でかけつけて同じ映像を見ることができるようになっていると思う。

○松村委員

P21「バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能」の点字ブロックについて、視覚障害の方に話を聞くと、新しい点字ブロックのシートがあるそうだ。デコボコしていないため、車椅子の方にも優しいものであるようなので検討いただければと思う。

多機能トイレについては、それぞれ使い方が全部違うので難しい。

○事務局

点字ブロックについては、岩見沢市役所を視察した際、新しい点字ブロックを配置しており、ガタガタしなかったのが参考としたい。トイレについては、市民の皆さんが使い勝手がよくなるように研究したいと思う。

○伊藤留美子委員

P28「議会機能」に関して、「議場形式」に、ひな壇形式と平土間形式と記載されているが、どういふものを想定しているのか。

○事務局

ひな壇形式は、現在の議場のような形式のことを指しており、平土間形式は、机や椅子が可動するフラットなつくりで、議会だけでなく別の会議にも利用できるようなつくり方を想定している。

○神保委員

議会機能については、ひな壇形式ではなく多目的利用をしてもらいたいと思う。4大学の学生の研究の発表の場など、市民も自由に見に行けるようになると良いと思う。

P27「執務機能」の「文書管理方法」の中に、既存庁舎の活用について記載されているが、なるべく使わないで、全て新庁舎にまとまるように考えた方が良いと思う。

○事務局

議場形式については、構想段階ではこのように記載しているが、基本計画の検討の中で、議会からの意見を聞いた上で最終的に決めていくことになると思う。文書管理方法における既存庁舎の活用については、なるべく新庁舎の中で検討したいと思う。

○日谷委員

P25「情報発信コーナー」のデジタルサイネージや、P26「多目的利用」のコワーキングスペース、サテライトオフィスに関して、例えばデジタルサイネージであれば広告料、コワーキングスペースであれば利用料金を徴取するなど、お金を生み出せる仕組みということも一緒に検討するものか。

○事務局

デジタルサイネージについては、市民会館のロビーにも小さいものが設置されており、デジタルサイネージを利用することで壁面のポスターを減らせたり、デジタル上で様々な情報を発信できることになる。構想段階ではあくまで例示であるため、料金等の利用方法については今後の検討となる。コワーキングスペースについても、導入するかどうか決まったものではない。今後検討するための頭出しをしているもの。

○日谷委員

P25「情報発信機能」の「発信コンテンツ」に「道の駅」とあるが、道の駅の設置基準等の条件がクリアできそうな見込みで記載したものなのか、前回の委員会意見を受けて記載しているのか、どのような意図なのか確認したい。

○事務局

計画書に記載している「道の駅」は、あくまで本委員会における意見を受けて構想に記載しているものである。これについても実現可能かどうか検討が必要だと考えている。

○藤本委員

P21「バリアフリー・ユニバーサルデザイン機能」における「サイン計画」に多言語対応と記載されているが、サイン計画だけの内容ではないと思うため、来庁者対応、来庁者誘導などのような表現の方が誤解を生まないと思う。

「衛生設備等」に記載されているトランスジェンダーへの配慮について、「ジェンダーレストイレ」と表記すると、あまり使われないという実態もあるようだ。最近は「だれでもトイレ」と使われることが多いため、ジェンダーレストイレという書き方は変えた方がよい。

P24「省エネ・環境負荷低減機能」に関して、ZEB化の方針がはっきり書かれすぎていると思う。ゼロエネルギーやゼロエミッションなど、江別市の関連計画の表現と合わせた方がよいと思う。ZEB がダメだというわけではないが目立ちすぎている気がする。

P27「執務機能」の「デスクレイアウト」に、フリーアドレスの採用と記載されているが、フリーアドレス方式にはデメリットや失敗例もあり、フリーアドレスが向く部署、向かない部署があると思う。

フリーアドレスも含めたレイアウトの検討という記載にした方が良いと思う。

○事務局

1点目の「サイン計画」と、2つ目の「ジェンダーレストイレ」については、記載の仕方は検討したいと思う。3つ目の「ZEB」に関しては、関連部署に照会をして確認を行う。4つ目の「フリーアドレス」については、ご指摘通り記載の仕方を検討する。

○北川委員

P21「連携機能」にある「国・道有施設等」の誘致の検討について、利便性を考えるとこれらの施設はあった方が良いと思うが、そういった可能性があるのかどうか現時点の状況を聞きたい。

P25「江別らしさをPRできる庁舎」に関して、新庁舎の整備にあたっては、外側からの見え方も大事だと思う。国道から木越に見える建物のカタチなど、絵になる江別らしさや、印象に残るものをつくるのが大事だと思う。

道の駅については単独型と一体型とあり、この場所で道の駅を整備することは、いくらでもできると思う。

○事務局

現段階では、江別高校跡地をどう使うかというところは決定していない。新庁舎の配置の兼ね合いや、残ったスペースに警察、保健所などの他施設を連携して整備することができるかどうか検討が必要ということで、現時点では確定していない。

○伊藤祥子委員

P25「市民参加・市民提供」について、最近、駅ピアノや空港ピアノなどがあり、それを目当てに行く人も見かける。子供が残していったピアノをどう処分するか困っている人がいると思うので、そういうスペースが新庁舎にあると良いと思った。

また、消費者協会ではフードドライブという取組をしており、少しずつ取組は進んでいるが、なかなか浸透していない状況であるので、市民から寄贈を受けたり PR できるスペースがあると良い。

○事務局

ピアノの設置については、庁舎に設置している事例等も含めて検討したい。消費者協会の PR スペースについては、市民活動支援機能の中で検討する。

○藤本委員

東京都庁にピアノが設置されているが、これは最上階の展望ラウンジに設置されている。音の問題もあるので、閉じられた展望スペースなどでは可能なのではないかと思う。

○神保委員

P25「市民参加・市民提供」に、名前を刻印した展示物等とあるが、市民参加でレンガに名前を刻印できたら良いと思った。

○事務局

レンガに関しては、近隣の市町村で実施している例もあるため、江別市で実施するかどうか検討したいと思う。

○伊藤留美子委員

ストリートピアノに関して、「店舗・テナント」にカフェなども記載されているので、もしできるならそういったところに設置できたら良いと思う。

○鴨田委員

江別市では、ペーパーレスに取り組み、デジタル化していくのは何年後といったものはあるか。

○事務局

ペーパーレス化について、これまで紙面で回覧していたものを、電子掲示板を利用して周知したり、庁内の議案はPDF化したりと庁内向けにはデジタル化が進んでいる。新庁舎の整備に当たってはさらに進めていきたいと考えているが、具体的に何年までということは決定していない。

○末富会長

時間となったため、その他の章については、何かお気づきの点があれば、個別に事務局に連絡することとしたい。

4 その他

(1)今後の実施予定

第3回の開催日程については、10月6日(木)9:30からとしており、場所は今回と同じ市民会館21号室で行う予定としている。

現時点で想定している議題として、基本理念案を数案示させていただくのとあわせ、基本構想案のたたき台について今回いただいた意見を踏まえて修正を行った上で、引き続き協議を行いたい。

5 閉会